

# 佐倉市議会だより



2015年4月15日  
〈平成27年〉

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508  
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)

▶耐震工事が行われている市役所本庁舎



## 2月定例会

平成27年度一般会計予算  
450億5400万円  
※(骨格予算として編成、前年度当初予算比4.8%減)  
国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に  
対応した平成26年度補正予算を可決

佐倉市議会は、2月23日から3月16日までの22日間にわたり、平成27年2月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成27年度佐倉市一般会計予算」など議案53件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決・同意しました。

議員提出議案については、「地方自治を否定する沖縄への新基地建設強行を止めるよう求める意見書」など6件が提出され審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に4人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

### 用語解説

※「骨格予算」とは、新規の施策や政策的経費を極力抑え、経常的な経費(法令に基づく義務的経費、既存施設の維持管理費など)を中心に編成した予算のことです。

## 平成27年度予算の審査

平成27年度一般会計予算、特別会計予算(6会計)、上下水道事業会計予算の議案が各常任委員会に付託され慎重に審議を行いました。

(各常任委員会での審査結果及び意見等は6ページをご覧ください。)

### 平成27年度 各会計の予算額 (※丸数字は議案番号)

会計区分	予算額	前年度比
①一般会計	450億5,400万円	△ 4.8%
特別会計		
②国民健康保険	215億6,781万8千円	+ 12.9%
③公共用地取得事業	360万2千円	+ 32.5%
④農業集落排水事業	2,299万2千円	△ 17.0%
⑤介護保険	114億1,637万3千円	+ 7.8%
⑥災害共済事業	536万7千円	+ 0.7%
⑦後期高齢者医療	17億3,742万円	+ 6.1%
①～⑦計	798億757万2千円	+ 1.4%

会計区分	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	40億4,800万円	36億6,700万円
⑨下水道事業会計	33億300万円	33億2,200万円

### 平成27年度 一般会計予算の主な事業

新規☆、拡充◇(単位:千円)

No.	事業名称	予算額	No.	事業名称	予算額
1	☆議員改選時事業	1,442	24	子ども医療費助成事業(県費制度分)	307,960
2	総合計画推進事業	5,673	25	子ども医療費助成事業(市費拡充分)	209,607
3	住民情報システム再構築事業	225,601	26	難病者等見舞金支給事業	49,519
4	☆国勢調査事業	61,919	27	放射性物質対策事業	11,696
5	自主防災組織支援事業	4,466	28	不法投棄監視事業	1,008
6	コミュニティ環境整備事業	22,230	29	農林産業活性化事業	914
7	地域まちづくり協議会事業	13,473	30	企業誘致事業	122,721
8	評価替え等事業	1,348	31	観光イベント事業	52,102
9	市営自転車駐車場整備事業	61,345	32	幹線道路整備事業	21,400
10	本庁舎保全事業	790,359	33	景観推進事業	11,529
11	☆市長及び市議会議員選挙事業	94,703	34	住生活基本計画策定事業	531
12	☆県議会議員選挙事業	38,282	35	小学校施設改築・改造事業	1,444,575
13	地域福祉推進団体助成事業	42,535	36	中学校施設改築・改造事業	714,483
14	臨時福祉給付金支給事業	231,275	37	教科書指導書購入事業	29,896
15	生活困窮者自立支援事業	31,193	38	☆キャリア教育事業	150
16	生活保護費等給付事業	2,375,902	39	インクルーシブ教育推進モデル事業	11,502
17	障害者介護給付事業	1,485,308	40	小学校給食施設整備事業	149,016
18	敬老事業運営事業	58,174	41	コミュニティカレッジ活動事業	1,768
19	病児・病後児保育事業	30,456	42	志津公民館整備事業	694,478
20	◇家庭保育運営事業	51,240	43	佐倉・城下町400年記念事業	363
21	◇保育所入所委託等事業	1,005,704	44	市民音楽ホール自主文化事業	8,306
22	◇学童保育所施設整備事業	60,642	45	美術館企画展事業	28,905
23	子育て世帯臨時特例給付金支給事業	90,446	46	幼稚園奨励事業	386,555



▲耐震工事が完了した根郷小学校(小学校施設改築・改造事業)



▲佐倉チューリップフェスタ(観光イベント事業)



▲中学生の外科手術体験セミナー(キャリア教育事業)



▲〈仮称〉志津公民館等複合施設完成予想図(志津公民館整備事業)

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することです。

2月定例会では、3月2日から3月5日までの4日間、1日あたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(5月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページより会議録検索システム(5月下旬配信予定)をご覧ください。

代表質問

さくら会

望月清義

順天堂大学の誘致について

大学の誘致に関する懇話会の提言を受け、市の対応と都市計画上の手続きなどの状況は、懇話会からは「支援の形態や規模は様々な要素を考慮し決定されるべき」「大学誘致の効果は広範囲にわたる社会的な効果を重視すべき」「市の政策的な意図が重要」との提言を受けている。この指摘を踏まえ、現在協議を続けている。また都市計画の変更手続きは、土地所有者との協議を進めるよう要請し、区画整理事業については、事業認可に向け協議を進めている。

現状、結論に至っていない最大の要因は何か。

現時点において大学側から事業計画の詳細が示されていないことと考える。

両者のトップが直接話し、双方の要望を検討し、大学誘致の議論を前進させるべきと考えられているか。

合意に向けて協議するため

地方創生の推進について

国の交付金を伴う緊急的な取り組みを含めて、地方創生をどのように進めていくのか。

市内消費活性化のため「プレミアム商品券」を発行する。この他、地方創生先行型として、公衆無線LANの整備と印刷沿周辺における観光振興事業を推進する。また、佐倉市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度中に策定する。

東京オリンピックに向けて取り組みについて

東京オリンピック等に向けて、海外からのお客様に対して、市としては、どのようなおもてなしをするのか。

市内にプロジェクトチームを発足させ検討を始めている。

勝田台長熊線志津霊園関連区間開通後の交通状況について

志津霊園区間開通後の、車の流れはどのように変化したのか。

国道296号の井野交差点付近での渋滞は約4割減少していることから、霊園区間開通により、渋滞の緩和が図られているか。

一般質問通告要旨

※は持ち時間1時間、それ以外は30分、( )内は会派名。【 】内は関連質問を行った同会派議員。

代表質問

望月清義(さくら会) ※

- 1 市長の政治姿勢について 2 スポーツの振興について
3 福祉の充実について 4 子育て支援について
5 道路問題について 6 公園整備について
7 下水道事業について 8 教育問題について

柏木恵子(公明党) [岡村芳樹、久野妙子] ※

- 1 地方創生戦略の推進について 2 大学誘致について
3 市民の健康対策について 4 勝田台～長熊線志津霊園区間開通に伴う諸課題について
5 奨学金制度について 6 読みにくい市の印刷物について
7 子育て支援策について

五十嵐智美(市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について 2 これからの学校教育について
3 高齢者の在宅支援について

岩井功(躍進)

- 1 将来の佐倉市について 2 佐倉市の教育について
3 市民協働について

個人質問

井原慶一(さくら会)

- 1 市政一般について

高木大輔

- 1 佐倉市が取り組むべき課題について 2 教職員の支援体制
3 ICTの活用について 4 外国人の取り組みについて

山口文明(さくら会)

- 1 順天堂大学の誘致について

石渡康郎(さくら会)

- 1 企業誘致について 2 観光振興について
3 印刷沿周辺地域の活性化について 4 空き家対策について

萩原陽子

- 1 市長の政治姿勢 2 障がい者施策
3 地域公共交通の整備

上ノ山博夫

- 1 市政運営の諸課題 2 市民生活の充実について

桐生政広(さくら会)

- 1 市長の政治姿勢

冨塚忠雄

- 1 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の佐倉市の対応について
2 学校でのいじめ問題の実態とその対応について
3 ごみのふれあい収集について

伊藤壽子(市民ネットワーク)

- 1 補助金、助成金について 2 図書館等運営について
3 子宮頸がんワクチン被害問題について
4 化学物質過敏症問題について

大野博美(市民ネットワーク)

- 1 国の地方創生政策について 2 ファシリティ・マネジメントについて
3 子ども・被災者支援法について

橋岡協美(さくら会)

- 1 市民の安全対策 2 定住交流人口増施策

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

公明党

柏木恵子

地方創生戦略の推進について

27年度は、地方版総合戦略策定が大きな柱となり、その議論に当たっては産・官・学に加え、地域の実情を詳しく知る金融企業、労働団体、メディアや住民の代表を巻き込むことが重要。いかに取り組むか伺う。

市民を含め外部有識者で構成する組織における審議を通じて幅広い意見を取り入れ、また市内の団体、企業等の協力を得ながら取り組む。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成について

公明党が推進し、2千円の公費助成が実施されてきた。更に昨年10月より定期接種化となり、対象の方は3千円で接種できるが、機会は一生涯に1回、1年限りである。定期接種化となつたことで市の助成事業が今年度末で終了の予定だが、対象になるまで待つことで肺炎のリス

市民ネットワーク

五十嵐智美

子育て政策について

4月開始の子ども・子育て支援新制度は企業が利潤を追求しやすくなるなど問題の多い制度。しかし予算配分など市の考え方次第で保育の質を高め、待機児童解消も可能方針を伺う。

施設整備を積極的に進め、量と質の両面で充足する環境整備に取り組んでいく。

指定管理者が運営する学童保育で指導員の残業代カット、就業時間繰り下げなど数々の問題が判明。業者の経費削減の実態が明らかになった。市は指導・監督の責任があるが、いかがか。

事業者が改善点があれば速やかに改善し、子どもたちにとってより良い環境となるよう指導・監督していく。

指定管理者制度のあり方

施設管理を効率的に行う指

改善を求める。

ユニバーサルデザインの観点から、十分配慮していく。今回指摘いただいた印刷物については、早急に改善する。

躍進

岩井功

将来の佐倉市について

市長の描く将来の佐倉市とは。

物質的な豊かさのみならず、精神的な豊かさを実感できる、中規模でも品格のある、すべての世代の方が将来に希望の持てるまち。

佐倉市の教育について

市長の考える教育とは。

教育とは新しい時代を切り開いていく原動力である。

佐倉市の教育を今後どうしていくか。人材育成についてはどのように考えるか。

学校と地域が一体となり、子どもたちが将来にわたり佐倉で学んでよかったと感じられるような教育を推進していくことが重要である。今後、一人一人の子どもたちが夢と志を持って何事にも取り組み、世界に発信できる人材を数多く輩出すべく支援していく。

まちづくり協議会の現状は。

地域社会において連携と協働のための場の確保と受け皿を用意することは、行政の責務である。地域まちづくり協議会の現状としては、市内12の小中学校に11のまちづくり協議会が設立されており、事業としては、合同防災訓練や防犯パトロール、地域清掃や地域を見直すための歴史ウォーキング等のほか、それぞれの地域がそれぞれの課題に応じた事業を実施している。

個人質問

さくら会 井原慶一

計画行政について

高い目標を掲げる「総合計画」は財政赤字の元凶となつていないか。平成23年の地方自治法改正によって策定義務がなくなつた。財源に限りがある。総合的な基本構想を頂点とする計画行政を止める考えはないか。

さくら会 山口文明

順天堂大学誘致、早期決断を

順天堂大学理事長から要請された「2月末までに資金援助額の提示を」の要請に、市は期限までに答えを出さず、また、大学の責任者が面談を求めてもおおとしない理由は何か。

さくら会 高木大輔

公立小中学校の適正配置について

文部科学省が平成27年1月小中学校の適正配置について通知した。教育委員会・学区審議会での問題について検討したことはあるか。

さくら会 石渡康郎

企業誘致について

誘致のための適地が減少する懸念の中、企業誘致の方向性の考えは。

さくら会 秋原陽子

地方創生について

国から求められている地方版創生計画のビジョンを伺う。

さくら会 桐生政広

新年度予算の方向性について

仮に市長が再選された場合、新規事業を含め、骨格予算にどのように肉付けされるか。

さくら会 伊藤壽子

図書館運営について

平成25年11月「月曜休館日の見直し」を議会質問した。学校の振りかえ休日と配慮して火曜休館日の提案もしたが、どのように検討したか。

さくら会 橋岡協美

防犯カメラ設置助成について

自治会・町内会での防犯カメラの設置助成の方向性は。安心・安全な市民生活の確保に有効であることから、関係各課と協議を進めている。

さくら会

べでの中学校と西志津小学校に、心の教育相談員は大規模校7校に配置されている。
家庭の相談を学校や先生にしていることが多い。相談員の増員など、教職員のサポート体制の充実を図ると共に、学校以外で家庭の相談ができる環境づくりが重要と考える。

関する制度のPRを行います。
印旛沼周辺地域の活性化について
市長は、この地域の活性化に向けて、農業振興や観光振興をどのように進めて行くのか。

さくら会

空き家対策について

地域との連携について。
行政主導の対策では、限界もあることから、今後は、自治会をはじめ地域との連携や協働を視野に入れ、空き家の利活用などに取り組めます。

さくら会

若く有権者の選挙投票率アップが今後の高齢社会には

特に20歳代の有権者の投票率が極めて低い。これからの佐倉市を担っていただく若者達には自分達のこととして選挙に積極的に参加してほしい。投票率アップの施策は何があるか。

さくら会

学校でのいじめ問題の実態とその対応について

長崎市の小学生がいじめを受けて、自殺を図り、死亡した問題で、長崎市教育局委員会の外部調査委員会は「当時の学校の対応を十分にしていれば自殺を防ぐことができた可能性がある」との報告書を公表しました。

さくら会

市民ネットワーク 大野博美

この事業の詳細を伺う。
国の消費喚起のための交付金で行われる。プレミアム率は30%(1万円で1万3千円の商品券)、6万6千冊発行の予定で、総事業費は約2億3千万円。

さくら会

放射能汚染と子どもの健康調査

福島県では、甲状腺がん検査を受けた30万人の子どものうち、悪性または悪性の疑いありと診断された子どもは117人。小児甲状腺がんの発生率は100万人に1.3人とされているので、100倍もの高発生率だ。

さくら会

交通安全対策について

かすれた横断歩道の補修は。
通学路に係るものを最優先で警察に依頼する。
自転車通行環境の整備は。既整備道路を利用した自転車走行空間等の研究を進める。
車椅子の方への配慮は。道路の新設や大規模改修の際に段差の解消に努める。

さくら会

順天堂大学誘致について

大学誘致に反対している市民は多いという認識で良いか。
誘致自体には、ほとんどの人が賛成すると思うという趣旨。
それぞれが100%を主張し続けても、何事も進まない。調整の上、互いが何割かで合意して事業が成り立てば、100%の方の違いを恐れず、市長の政治的な判断に期待する。

さくら会

地域公共交通の整備

高齢化が進み、交通弱者が増加している。地域ごとの実情を把握することが出発点であり自治会や町内会を通じた調査が有効と考えるか。

さくら会

としか考えられない。議会軽視と言われても仕方ないのでは。
大学等誘致時の公的支援の考えを整理するため懇話会を設置した。議会からの意見書に誘致の方策や金額の目安等はない。
議会が金額を示した決議などできない。予算提案権は市長にしかない。順大誘致こそ市に大きな貢献となるのではないか。

としか考えられない。議会軽視と言われても仕方ないのでは。
大学等誘致時の公的支援の考えを整理するため懇話会を設置した。議会からの意見書に誘致の方策や金額の目安等はない。
議会が金額を示した決議などできない。予算提案権は市長にしかない。順大誘致こそ市に大きな貢献となるのではないか。

さくら会

市民ネットワーク

この事業の詳細を伺う。
国の消費喚起のための交付金で行われる。プレミアム率は30%(1万円で1万3千円の商品券)、6万6千冊発行の予定で、総事業費は約2億3千万円。

さくら会

放射能汚染と子どもの健康調査

福島県では、甲状腺がん検査を受けた30万人の子どものうち、悪性または悪性の疑いありと診断された子どもは117人。小児甲状腺がんの発生率は100万人に1.3人とされているので、100倍もの高発生率だ。

さくら会

交通安全対策について

かすれた横断歩道の補修は。
通学路に係るものを最優先で警察に依頼する。
自転車通行環境の整備は。既整備道路を利用した自転車走行空間等の研究を進める。
車椅子の方への配慮は。道路の新設や大規模改修の際に段差の解消に努める。

さくら会

順天堂大学誘致について

大学誘致に反対している市民は多いという認識で良いか。
誘致自体には、ほとんどの人が賛成すると思うという趣旨。
それぞれが100%を主張し続けても、何事も進まない。調整の上、互いが何割かで合意して事業が成り立てば、100%の方の違いを恐れず、市長の政治的な判断に期待する。

さくら会

市民ネットワーク

この事業の詳細を伺う。
国の消費喚起のための交付金で行われる。プレミアム率は30%(1万円で1万3千円の商品券)、6万6千冊発行の予定で、総事業費は約2億3千万円。

さくら会

放射能汚染と子どもの健康調査

福島県では、甲状腺がん検査を受けた30万人の子どものうち、悪性または悪性の疑いありと診断された子どもは117人。小児甲状腺がんの発生率は100万人に1.3人とされているので、100倍もの高発生率だ。

さくら会

交通安全対策について

かすれた横断歩道の補修は。
通学路に係るものを最優先で警察に依頼する。
自転車通行環境の整備は。既整備道路を利用した自転車走行空間等の研究を進める。
車椅子の方への配慮は。道路の新設や大規模改修の際に段差の解消に努める。

さくら会

順天堂大学誘致について

大学誘致に反対している市民は多いという認識で良いか。
誘致自体には、ほとんどの人が賛成すると思うという趣旨。
それぞれが100%を主張し続けても、何事も進まない。調整の上、互いが何割かで合意して事業が成り立てば、100%の方の違いを恐れず、市長の政治的な判断に期待する。

さくら会

行どおり月曜休館としたい。
監査報告書に「図書館の指定管理者導入を検討している」とある。しかし個人情報漏えい、国民の知る自由の侵害等指定管理者導入は問題が多い。図書館の真の役割を理解すべきである。
他市の状況等研究していく。
化学物質過敏症問題について
空気中のウィルス除去・除菌を謳っている二酸化塩素(商品名クレベリン等)は消費者庁から不当表示の措置命令が出ている。すでに4年前には国民生活センターが健康被害発生を発表している。子ども関連施設での使用状況と今後の対応を伺う。
学童をはじめいくつかの施設で使用していた。今後情報共有を行い、薬剤を原則使用しない管理方法を周知していく。

としか考えられない。議会軽視と言われても仕方ないのでは。
大学等誘致時の公的支援の考えを整理するため懇話会を設置した。議会からの意見書に誘致の方策や金額の目安等はない。
議会が金額を示した決議などできない。予算提案権は市長にしかない。順大誘致こそ市に大きな貢献となるのではないか。

さくら会

市民ネットワーク

この事業の詳細を伺う。
国の消費喚起のための交付金で行われる。プレミアム率は30%(1万円で1万3千円の商品券)、6万6千冊発行の予定で、総事業費は約2億3千万円。

さくら会

放射能汚染と子どもの健康調査

福島県では、甲状腺がん検査を受けた30万人の子どものうち、悪性または悪性の疑いありと診断された子どもは117人。小児甲状腺がんの発生率は100万人に1.3人とされているので、100倍もの高発生率だ。

さくら会

交通安全対策について

かすれた横断歩道の補修は。
通学路に係るものを最優先で警察に依頼する。
自転車通行環境の整備は。既整備道路を利用した自転車走行空間等の研究を進める。
車椅子の方への配慮は。道路の新設や大規模改修の際に段差の解消に努める。

さくら会

順天堂大学誘致について

大学誘致に反対している市民は多いという認識で良いか。
誘致自体には、ほとんどの人が賛成すると思うという趣旨。
それぞれが100%を主張し続けても、何事も進まない。調整の上、互いが何割かで合意して事業が成り立てば、100%の方の違いを恐れず、市長の政治的な判断に期待する。

さくら会

市民ネットワーク

この事業の詳細を伺う。
国の消費喚起のための交付金で行われる。プレミアム率は30%(1万円で1万3千円の商品券)、6万6千冊発行の予定で、総事業費は約2億3千万円。

さくら会

放射能汚染と子どもの健康調査

福島県では、甲状腺がん検査を受けた30万人の子どものうち、悪性または悪性の疑いありと診断された子どもは117人。小児甲状腺がんの発生率は100万人に1.3人とされているので、100倍もの高発生率だ。

さくら会

交通安全対策について

かすれた横断歩道の補修は。
通学路に係るものを最優先で警察に依頼する。
自転車通行環境の整備は。既整備道路を利用した自転車走行空間等の研究を進める。
車椅子の方への配慮は。道路の新設や大規模改修の際に段差の解消に努める。

さくら会

順天堂大学誘致について

大学誘致に反対している市民は多いという認識で良いか。
誘致自体には、ほとんどの人が賛成すると思うという趣旨。
それぞれが100%を主張し続けても、何事も進まない。調整の上、互いが何割かで合意して事業が成り立てば、100%の方の違いを恐れず、市長の政治的な判断に期待する。

さくら会

用語解説
【グリーン・ツーリズム】
農山漁村などに長く滞在し、農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ余暇活動です。長期バカンスを楽しむことの多いヨーロッパ諸国で普及した旅のスタイルで、日本でも最近『新しい旅のカタチ』として関心を集めています。ひとつの場所に長く滞在し、様々な田舎暮らし体験をすることで、観光旅行とは異なる、より深い感動を得られることが大きな魅力です。



# 主な議案の概要

議案第1号から第9号までは平成27年度の一般会計、各特別会計、上下水道事業会計の当初予算、議案第10号から第15号まで及び第48号は平成26年度の一般会計と各特別会計の補正予算、議案第16号から第39号までは各種条例の制定、議案第40号から第43号までは市道路線の認定・変更、議案第49号から第51号までは契約の締結に関する議案です。

## 【議案第10号 平成26年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ9億3605万1000円を減額するもの。歳入の主なもの、国県支出金、繰入金、市債の減額、及び財産収入、諸収入などの増額など。歳出の主なもの、臨時福祉給付金支給事業、子育て世帯臨時特別給付金支給事業、生活保護費等給付事業、小学校施設改築・改修事業、佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金の減額、及び財政調整基金積立金の増額など。

## 【議案第21号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律等の改正に伴い、教育委員会における委員長と教育長を一本化するために委員長職が廃止されたことなどから、関連する3条例の改正及び2条例の廃止をするもの。

## 【議案第35号 佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

学童保育所に入所を希望する児童が身体虚弱又は精神障害を有する場合においても入所を可能とするもの。

## 【議案第36号 佐倉市立幼稚園園児保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について】

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、佐倉市立幼稚園の利用者負担額（保育料）を定めるもの。

## 【議案第46号 あいせんの申し合わせ】

福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の対策に要した平成24年度までの費用6492万7230円を東京電力株式会社請求するものとし、原子力損害賠償紛争解決センターにあつせんを申し立てを行うもの。

## 【議案第48号 平成26年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ3億7268万6000円を増額するもの。歳入歳出予算の内容としては、国の補正予算で措置された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対応した、交付金を活用する事業の経費を増額するものなど。

## さくら会

議案第1号 平成27年度佐倉市一般会計予算、議案第2号 議案第9号 平成27年度佐倉市特別会計並びに公営企業会計予算について賛成

4月に市長選を控え、経常的経費を中心とした「骨格予算」として編成された議案第1号は、厳しい財政状況が続く中にもかかわらず、市民サービスが低下することが無いよう配慮され、事業1件、1件を丁寧査定し、必要最低限の事業が計上されているものと評価している。

一方、予算編成の背景となる社会情勢は、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、多くの自治体が財政破たんを陥るとの見方もあり、生き残りをかけた自治体間競争がますます激化すると言われている。

このことについては、今定例会の所信表明にも含まれていたもので、市長も十分に理解、認識されているものと思う。

これまでも、佐倉市においては、子育て支援や高齢者福祉、産業振興や文化の創造など、街の魅力づくりが求められているが、このような時代だからこそ、佐倉の地域特性を活かした施策に、これまで以上の積極性をもって、取り組んでいくことが重要であると考えます。

佐倉の魅力づくりの一つとなるのが、大学誘致、特に順天堂の誘致と確信している。

本件に関し、当市議会では、「大学誘致に関する意見書」を平成24年11月定例会において賛成多数で可決し、縁のある順天堂大学の誘致に最善を尽くすよう市に求めるとともに、各定例会の一般質問でも、市の考え、姿勢について質すなど、一日も早く誘致を実現すべく、議会としてできる、最大限の努力を払ってきたところである。

## 公明党

議案第1号 平成27年度佐倉市一般会計予算について賛成

法律的には問題がある予算の分割審査のため、各委員会の採決では、会派内でも賛否が分かれた。

佐倉市の将来にとって大変大事な大学誘致に対する市長の消極的姿勢に対して新年度予算は、反対すべきものと考え各委員会の採決に臨んだが、本会議の採決にあたり改めて会派の協議をした結果、提案された平成27年度予算は、あくまで骨格予算であり、その全体および個々の内容を勘案した結果、反対すべきものとはならないと判断した。

入口論で反対し、中身についての可否を協議しないのでは、今までの我々の姿勢と異なってしまう。

従って、議案第1号平成27年度一般会計予算には賛成するものとした。

議案第48号 平成26年度佐倉市一般会計補正予算について賛成

国により地方創生にむけた、地域住民生活等緊急支援のための交付金が決定し、具体的には、地域消費喚起・生活支援型と地方創生先行型の交付金が佐倉市にも交付されることになった。

これを受けてのプレミアム商品券発行事業などまさに消費喚起への大事な予算である。

実際の事業は、平成27年度となるが、佐倉市においては、商品券のプレミアム率を3割とし、消費喚起には大変インパクトがある思い切った施策となっており、賛成するものとした。

## 市民ネットワーク

議案に反対する主な理由

議案第1号 平和使節団派遣費用は、事業拡充を望む市民の寄付金で設立された基金でこれまでの事業の全額を肩代わりさせ、寄附者の篤志を踏みにじる行為

と判断し賛成する。

議案第46号に反対 議席10番

汚染処理を市職員が通常業務の中で行った人件費まで東電に請求するものだが、原発事故は天災。東電も被害者として責めを一身に負っている。負担を分担すべき公務員の通常業務費まで一私企業に負わせて憚らない市の発想は余りにさもしい。

議席11番

平成27年度一般会計予算に反対 八ッ場ダムへの出資約1500万円が提案されている。八ッ場ダム本体工事も強行されたが市民の利益に反する無駄遣いであり反対。職員の通勤手当が国より年間約4400万円多いのは自動車使用の手当が国の約2倍なのが原因であり是正すべき。

## 躍進

議案第1号 平成27年度佐倉市一般会計予算に賛成

当該議案は佐倉市の行政運営の根幹を成す予算である。27年度当初予算は、選挙の都合上、骨格予算であり、必要最低限の予算が計上されている。

文教福祉常任委員会では当該議案に反対の姿勢であったが、否決された場合の行政運営全体に及ぼす影響の大きさを考慮し、最終的には賛成の立場をとった。

しかしながら、市は議会で答弁している内容が、口先だけにならないよう、積極的な行政運営をするべきだと考える。

## 無会派

議席2番

議案第1号に賛成

この先、10年間で対策を講じなければ千葉県内で10の市町村が財政破綻状態に陥る可能性があるという厳しい財政状況の中、経常的な経費を中心とした「骨格予算」ではあるが、市民サービスの向上に配慮した予算

議案第1号に反対。理由は、①職員研修を自衛隊で行うこと。②佐倉平和使節団の参加負担金を市民寄附の基金から出すこと。③マイナンバー制度の負担金が計上されていること。④八ッ場ダム関係の費用が計上されていること。⑤学校用務員業務委託料が計上されていること。

議席19番

※議席番号と議員名の確認は4ページの議案一覧をご覧ください。



# 委員会報告

※議案は市長提出議案  
◎は委員長、○は副委員長

## 総務常任委員会

開催日：平成27年3月9日／場所：第四委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案6	議案7	議案10	議案11
否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案12	議案14	議案15	議案16	議案17	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案20	議案21	議案22	議案23	議案24	議案25	議案26
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案27	議案44	議案45	議案48	議案49	議案50	議案51
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

議案28件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

順天堂大学の誘致に関連して、市長の諮問機関である大学等の誘致に関する懇話会を設置し、経済波及効果についての答申はあったものの、市の今後のあるべき姿、地域の活性化などを踏まえた、具体的な検討が十分になされていないのではないか。

本年度においては、市民の方から、平和事業の施策を充実してほしいとの趣旨により、多額の寄附を頂戴した。このような状況を勘案し、今後の事業実施にあたっては、ふるさとまちづくり応援のための寄附に関する条例に規定されており、寄附された方のご意向を反映した施策の推進に努められたい。

今回の補正予算にも編成されている、「まち・ひと・しごと創生」の長期ビジョンと総合戦略に基づく事業においては、地方自治体が自立し、自らが考え、責任を持って推進していくことが求められることから、今後においても、これらのことを深く認識し、取り組まねたい。

〔総務常任委員〕◎桐生政広 ○爲田浩 大野博美 久野妙子 萩原陽子 森野正 押尾豊幸

## 文教福祉常任委員会

開催日：平成27年3月10日／場所：第三委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案5	議案10	議案13	議案28	議案29	議案30
否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案31	議案32	議案33	議案34	議案35	議案36	
可決	可決	可決	可決	可決	可決	

議案13件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

生活保護制度の見直しによる影響について、実情把握に努めていただきたい。

当初予算の見込みを下回ったことによる執行残の減額補正が多くみられるが、予算編成に当たっては事業執行の見通しを精査するよう努めていただきたい。

〔文教福祉常任委員〕◎川名部実 ○小須田稔 上ノ山博夫 五十嵐智美 村田穰史 山口文明 望月清義

## 経済環境常任委員会

開催日：平成27年3月11日／場所：第二委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案4	議案10	議案46	議案48
可決	可決	可決	可決	可決

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

放射性物質対策事業については、放射能測定範囲の見直しを検討することにより、予算を有効に活用するよう努めていただきたい。

プレミアム商品券発行事業については、商品券の販売方法、使用可能場所等を検討していただきたい。また多子世帯に加え、低所得者層への配慮も必要ではないか。さらに一過性のものとならないよう、経済効果について検証していただきたい。

印旛沼周辺地域の活性化推進プランの一つとして、船の運航があるが、その維持管理、周辺地域との関連事業など今後さらに具体化を進める必要がある。

〔経済環境常任委員〕◎清宮誠 ○井原慶一 石渡康郎 松原章 伊藤壽子 岡村芳樹 冨塚忠雄

## 建設常任委員会

開催日：平成27年3月12日／場所：第一委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案8	議案9	議案10	議案37	議案38	議案39
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案40	議案41	議案42	議案43			
可決	可決	可決	可決			

議案11件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

空き家バンク制度については、地域活性化につながるよう、他の事業との連携に努めていただきたい。

〔建設常任委員〕◎櫻井道明 ○橋岡協美 高木大輔 岩井功 柏木恵子 中村孝治

## 佐倉市議会のホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ  
<http://www.city.sakura.lg.jp>

→佐倉市議会 をクリック

### ●会議録が検索できます!

平成元年以降の市議会の本会議会議録の内容を検索することができます。

### ●インターネット中継を見ることができます!

本会議の様態を、開催時間中にライブ中継で見ることができるとともに、開催日からおおよ1週間後以降には録画中継を見ることができます。



## 議会百景

一般質問の一问一答方式が始まって5年。質問のやり取りが明確になり、活発な議論が行われるようになりました。しかしながら、質問ではなく要望やお願いで終わってしまう場面がまだまだ見受けられます。議会は核心を突いた質問により、政策立案のプロセスや予算・決算の妥当性についてチェック機能を十分に果たす必要があります。

〔広報公聴委員 川名部実〕

国は、人口減少と東京一極集中への対策として地方創生を掲げ、地方に対する新たな交付金制度を立ち上げた。今定例会でも関連予算案を審議、可決した。アベノミクス効果が、地方まで浸透していないとの批判がある中、今回の施策が、地方再生の起爆剤となることを期待すると同時に、活力ある佐倉市実現の一助になりたい。

〔広報公聴委員 櫻井道明〕

わが40年の政治生活に悔いなし。佐倉市には古い歴史と伝統があり、先人たちは地域の産業、経済、教育文化、環境などあらゆる面で真剣な努力を積み重ねて現在の佐倉市を築いてきました。佐倉市が百年後においても住んで良かった、これからも住み続けたいと思う佐倉市を皆さんと一緒に作り上げたいものです。感謝をこめて。

〔広報公聴委員 望月清義〕

## ★次回以降の市議会開催日程は未定です

5月下旬に決定する予定ですので、市議会ホームページをご覧ください。か議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局  
TEL484-6279